

*** イベントのお知らせ ***

令和5年度きらめき講演会を開催します

長崎大学病院心臓血管外科 教授 三浦 崇 先生をお迎えし、ご自身が育休を取得された経験などを通して、男性の育児参加についてお話していただきます。講演後には、子育て世代の現役医師の方々にお集まりいただき、育児・仕事・家庭について自由に対話していただきます。

日時：令和5年10月4日(水) 18:00~19:30

会場：病院キャンパス 医学図書館

1階アクティブラーニングスペース

対象：九州大学教職員・医療従事者



九州大学教職員・医療従事者 対象

九州大学病院きらめきプロジェクト

令和5年度講演会

2023年 10月4日(水) 18:00~19:30

九州大学病院キャンパス 医学図書館
1階 アクティブラーニングスペース

●基調講演
男性の育児参加：
長崎大学心臓血管外科における育休取得のこころみ
長崎大学病院心臓血管外科 教授 三浦 崇 先生



●パネルディスカッション
~子育て世代の現役医師たちにお話を伺います！~

九州大学病院 臨床教育研修センター

きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX：092-642-5203

E-mail：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL：https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/



きらめき通信 vol.76

2023年9月(隔月発行)

九州大学病院臨床教育研修センター

きらめきプロジェクトをご紹介します

きらめきプロジェクトは、出産・育児・介護・自身の病気等、さまざまな理由により常勤での勤務が困難な医師・歯科医師に対し、キャリアの継続・復職支援を行っています。

新しい時代に向けてより良い医療を築き上げるために、性別を問わず、すべての医療人が十分な能力を発揮し、働くことができることを目指しています。

●きらめきプロジェクトのはじまり

2007年に文部科学省大学改革推進事業として発足。2010年度からは九州大学病院独自の予算で引き継がれました。

その後、2019年11月には事業の恒常化を図るため、研修プログラムのひとつとして本院臨床教育研修センターに組み入れられ、活動を続けています。

●きらめきプロジェクトの活動

- ①常勤復帰を前提としたスキル継続のための専門性に応じた非常勤勤務制度(専門の外來勤務・検査業務)
- ②定期的開催するスタッフミーティングによるスタッフの交流
- ③講演会・学生交流会・スタッフ発表会などによる啓発と周知活動
- ④スタッフの教育学習支援のためのeラーニング教材の配信
- ⑤ホームページ・きらめき通信(隔月発行)・報告書(年1回発行)による情報発信
- ⑥医学部・歯学部生に対する性差医学や医療人としてのプロフェッション教育
- ⑦他大学・基幹病院・近隣の医療機関との連携
- ⑧福岡県医師会・歯科医師会・企業などの支援組織との連携

2007年発足以来、延べ345名の医師・歯科医師が本プロジェクトを利用しています。

きらめき通信では、本プロジェクト所属のドクター達の声やプロジェクトの活動内容を隔月で報告しています。





日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します



卒後17年目の産婦人科医です。医師の夫と小学生男子3人の5人家族です。専門医取得の頃に長男を出産し、当時「ゆりかごプロジェクト」という周産期の産後復帰支援プログラムを1年間利用しました。週2回の大学の外来と週2～3日の外勤をしていました。その後大学院在籍中には次男と三男の出産、夫の海外赴任の同行で三度休学をさせていただきました。その間、海外生活、英語育児など貴重な時間を過ごすことができました。現地には日本人医師も多く、九州大学の方も複数いて帰国後も家族ぐるみでお付き合いさせていただいております。3年のブランクがありましたが、大学院を修了した後、令和4年度よりきらめきプロジェクトに参加させていただいております。

きらめきプロジェクトに応募したきっかけは、手の病気を患い、手術や処置などが思うように行えなくなったので、外来診療で研鑽に励み、サブスペシャリティの資格を取得したいと思ったからです。

昨年に引き続き週1回大学病院で外来を担当しています。大学病院ではクリニックでは診ない症例を経験することができ、日々学ばせていただいております。外来診療以外では、大学院時代の研究のまとめ、学会発表や論文執筆に取り組んでいます。

きらめきプロジェクトへの参加をご理解いただいた医局の方々、きらめきスタッフの方々、そして支えてくれる家族に感謝しております。今後ともよろしく願い申し上げます。



卒後18年目の内科医師です。

きらめきプロジェクトには長男出産後も1年間お世話になりました。第3子出産後、まだまだ手のかかる子供達がいるため自分のペースで働きたいという思いもあり、昨年度より再度所属しております。



普段は、夫と長男（7歳）、長女（5歳）、次女（3歳）の5人家族で慌ただしくもにぎやかに毎日を送っています。

勤務は九大病院に週2日、市中病院に週3日、時短勤務で外来診療を担当しています。勤務後は2～3か所（保育園、幼稚園、時々学童へ）お迎えに行き、その後は子供達相手に奮闘する毎日です。子育てをしながら常勤で勤務されている女医の先生方の話を聞くと、尊敬の念を抱くとともに、時短勤務であることに後ろめたさを感じることもあります。しかし、贅沢なことかもしれませんが、子供がもう少し成長するまでは子供と向き合う時間を大事にしながら仕事を続けていきたいと考えています。

家庭では、一人が風邪をひくと子供3人とも次々に熱を出すことが度々あり、勤務を休まなければならないたびに医局の先生方には大変ご迷惑をおかけしていますが、毎回快くサポートしていただき、本当に感謝しております。職場の先生方や家族のサポートなしには子育てをしながらの勤務は成り立たないと感じます。今後も周囲の方々への感謝を忘れずに、まずは診療をやめないこと、続けることが大事だという諸先生方の言葉を信じて、少しずつ恩返ししていければと考えています。

